

# 競 技 注 意 事 項

## 1. 規 則

競技は2020年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項、申し合わせ事項による。  
なお、2020年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則第162条5の適用はしない。

## 2. 練 習

- ① 100m・走幅跳の選手は、陸上競技場バックストレートを練習会場として解放する。但し係の指示にして従って十分に安全を考慮し行うこと。
- ② 800m・1500mの選手は、第2陸上競技場内を練習会場とするが競技や保護者応援場所などがあるので十分安全に留意して行うこと。また、競技場外でのウォーミングアップは行わないこと。
- ③ 走幅跳の練習は、競技開始前に審判の指示により競技場内で行う。
- ④ 器具を使用後は、手洗いをすること。

## 3. 競技場とスパイク・シューズの使用

- ① 本競技場は全天候型である。
- ② 使用できるスパイクのピンの長さは、走高跳12mm以下、その他は9mm以下とし、その数は11本以内とする。また、先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するものでなければならない。
- ③ シューズ(スパイク・ランニングシューズ含む)の厚さについて走高跳は靴底(ソール)全体20mm(かかと含む)、走幅跳は20mm(ただし前部が踵部より厚くなってはならない)トラック種目で800m未満の種目は20mm、800m以上の種目は25mmとする。

## 4. 選手受付(招集方法について)

- ① 選手または代理人は競技開始の120分前～60分前までにJAAF健康管理チェックシートと大会出場承諾書を100m・走幅跳出場者は、陸上競技場1F正面玄関前TICへ提出、800m・1500m出場者は第2陸上競技場倉庫前TICへ提出すること。(押印欄に押印のないものは受け付けないものとする)
- ② 選手受付を終えた選手または代理人は招集所で出場者の名前に○印を付ける。
- ③ 選手受付(招集)をしていない者は棄権とみなし出場を許さない。
- ④ トラック種目は、競技時間の15分前、走幅跳の選手は競技時間の30分前(集合完了時刻)までに下記の場所に集合する。荷物は各自で管理すること。
  - ◇ 100m 陸上競技場雨天走路
  - ◇ 走幅跳 陸上競技場走幅跳ピット
  - ◇ 800m 第2陸上競技場本部横走幅跳ピット付近
  - ◇ 1500m 第2陸上競技場走高跳ピット
- ⑤ トラック種目の競技者は、出発係から腰ナンバーカードを受け取り、右尻部につけること。

## 5. 入 退 場

- ① 入場についてはマーシャルの指示・誘導に従う。
- ② トラック競技は、レース終了後腰ナンバーカードを係に返却し、臨時手洗い場で手洗いをしスタート付近に戻り荷物をもってベンチへ戻ること。
- ③ フィールド競技は、競技終了後、荷物を持って臨時手洗い場もしくは雨天練習場で手洗いをしベンチに戻ることに。

## 6. アスリートビブス

- ① アスリートビブスは千葉県小中学校体育連盟陸上競技専門部指定のものを使用する。
- ② アスリートビブスは胸(腹ではない)と背にしわにならないように四隅をしっかりとつけ、切ったり曲げたりしてはならない。但し、跳躍種目は1枚を胸または背のどちらかにつけること。

## 7. 走 路 順

トラック競技の予選の組、走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選しプログラムに数字で示す。

## 8. トラック競技について

- ① すべてのレースにおいて写真判定を採用する。
- ② タイムレースで行い総合順位を決定する。

## 9. 不正スタートについて

不正スタートした競技者はすべて失格とする。ただし、混成競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者は、全て失格とする。2020年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則第162条5の適用はしない。

## 10. フィールド競技について

走幅跳は2回の試技とし、総合順位を決定する。

## 11. 用 器 具

棒高跳のポール以外は競技場備え付けのものを使用する。

## 12. 抗議

発表された結果に対する抗議は、アナウンスの正式発表後（全てのラウンドにおいて15分以内）に本人または代理人がTICを通じて審判長に対して口頭で行い、控室で待機する。さらに、この裁定に不満の場合は預託金10,000円を添えて、担当総務員（ジュリ）に文書で申し出る。

## 13. 表彰

表彰は行わない。入賞者はアナウンスの結果やWEBの大会速報を見てTICにメダル、賞状を取りに来る。

## 14. その他

- ①記録の発表は、アナウンス及びWEBの大会速報のみとする。記録の掲示はしない。
- ②各自の持ち物については自分自身で責任をもって管理し、盗難に注意すること。
- ③ゴミについては必ず持ち帰ること。競技場、駅、バス停などに絶対に捨てないこと。
- ④選手に控え場所は、陸上競技場スタンド・芝生スタンド、第2陸上競技場、陸上競技場1F軒下、緑地帯（R16号沿いは禁止）とする。但し、陸上競技場スタンド・芝生スタンドは保護者観戦スペースを設けているので個人利用のみとする。利用する場合はソーシャルディスタンスを配慮して使用する。学校単位での控え場所（テントやシートを設置する場合）については、第2陸上競技場、陸上競技場1F軒下、緑地帯（R16号沿いは禁止）とする。
- ⑤プログラムの記載事項の訂正については、選手受付時に本人又は代理人がTICへ届け出ること。
- ⑥競技中に発生した事故などについては応急処置を主催者で行うが、以降の責任は負わない。また、体調が悪くなった選手は医務員の指示に従うこと。
- ⑦レースを棄権する競技者は棄権届をTICで受け取り、必要事項を記入の上競技1時間前までにTICへ提出すること。